

サービス計画立案の実際
神奈川県座間市立図書館での実践から

- ・ サービス計画の位置付け
- ・ 使命と目標
 - 使命
 - 目標とは？
- ・ 「サービス計画」とは？
 - 基本計画
 - 実行計画
- ・ 戦略の重要性
 - 戦略とは？
- ・ 公共図書館の現状
- ・ なぜ「計画」が必要か
- ・ 「計画」を作成する前に
 - 環境分析
- ・ 公共図書館に関する基準など
 - 「公立図書館の設置及び運営に関する望ましい基準」(2001年7月文部科学大臣告示)
 - 「2005年の図書館像」(2000年12月文部省)
 - 「Lプラン」
 - 「公立図書館の任務と目標」(日本図書館協会 1996年)
 - 「チェックリスト」(日本図書館協会 1997年)
- ・ プラニング・プロセスのサイクル
 - 第一次サイクル
 - 第二次サイクル
- ・ 経年的に見た計画立案
 - 第一次サイクル(初期) - 5年間
 - 第一次サイクル(次期) - 5年間
- ・ サービス計画立案の一般的手順
 1. テーマの設定
 2. 資料の収集
 3. 地域・自治体の分析
 4. 図書館サービスの現状と課題
 5. 「サービス計画」の策定

- ・「鎌倉市図書館サービス計画」
- ・座間市の事例から
 - 「座間市立図書館の目標」と「座間市立図書館サービス計画」
 - 策定の発端と経過
 - 「サービス計画」策定の作業
- ・統計の分析
 - 同規模自治体の比較
 - 神奈川県内の公共図書館の比較
 - 経年変化
 - 利用内容の分析
- ・「座間市市民意識調査」から
 - 昭和 63 年の意識調査より
- ・「サービス計画」の構成と内容
 - 「サービス計画」の構成
 - 「サービス計画」の内容
- ・「サービス計画」策定後の状況
 - 貸出の経年変化
 - 予約の経年変化
 - 図書購入費の経年変化
 - ボランティア
- ・ボランティアについて
 - 「座間図書館ボランティア友の会」
 - リサイクルについて
 - 図書館まつり
- ・今後の課題
 - 「サービス計画」自体の問題
 - 実効性
- ・座間市立図書館組織図
- ・作成時の留意点
 - 1．図書館運営に関する明確なビジョンを持っていること
 - 2．地域・自治体の分析に時間をかけ過ぎないこと
 - 3．現状分析は、基本的業務＋テーマ関連で行なう
 - 4．「解決方策」の提言に最も力を入れる
 - 5．先進事例のチェックを忘れないこと
 - 6．技術の進展を考慮すること
- ・さあ、始めましょう
 - 1．まずとりかかる事
 - 2．完成させる事
 - 3．決済をとる事
 - 4．広める事